

あしたの介護

代表者セミナーのご報告

令和10月21日、オンライン形式で開催いたしました「代表者セミナー」についてご報告します。今年度は「人的資本経営への転換～介護人材確保を超えて」というテーマで“FLOW & HAPPEN”代表の倉員知子氏にご講義頂きました。

オンライン形式ではありましたが、グループワークの時間も多く、参加された会員の方たちと「人が生き生きと働き集まってくるような組織であるために、リーダーとしてどんなことが必要か」といったテーマについて、それぞれの事業所で取り組んでいることを発表し、検討し、少しお互いの愚痴もこぼしたりし、改めてグループワークの面白さ・良さを実感しました。また現在の日本の組織・職場の課題といった社会の分析、「エンゲージメント」の概念とその価値、そして「明日から、今日から自分が職場で取り組むこと、ちょっとした変化を起こしていくこと」へのたくさんのヒントをしっかりと学ぶことができました。

参加者の方々からも「現在抱えている課題に対する多くの気づき、提案をいただいた。」「健康経営が大事であるという視点、エンゲージメントの重要性とその高め方のヒントをいただいた。」「新しい知識あり、既知の知識も重要性の再認識ができた。」との感想をいただきました。

倉員先生の「今後30年、日本における生産人口の減少に伴い業務が自動化されていくことが予測されるが、介護・福祉・医療の分野は自動化が難しい。だからこそ将来に向けての人材の確保・育成が必要とされている。」「個人と組織の成長の方向性が連動し、互いに貢献し合える組織をつくる。」というお話、そのために「職員ができていることを当たり前ととらえず、評価して言葉で伝える」「職

員自身に、“自分の取り組みやアイデアが職場に変化をもたらした！”という体験・実感を積み重ねてもらおう」というお話、本当に身に沁みました。

倉員先生、参加いただいた会員の皆様、本当にありがとうございました。

(社会福祉法人ふくおか福祉サービス協会 野口)



令和4年度事業実施報告

居宅介護支援部会

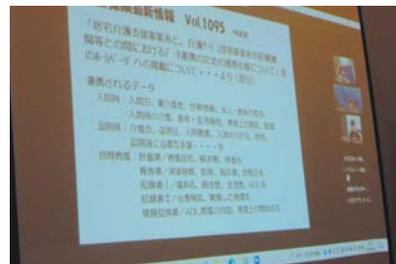


居宅介護支援部会は、令和4年度は、4回の研修を開催致しました。

第1回はオンライン開催とし「医療連携と医療系サービスの算定構造」をテーマに株式会社太平洋 介護付き有料老人ホームサンタマリア施設長 松本 直人氏よりご講義いただきました。参加者から「医療機関の算定の仕組みがよく理解できた」「ケアマネとの連携で算定できる加算の説明がわかりやすかった」等、感想をいただきました。第2回は「事例検討会の意義と実際～実践力を高めるために～」をテーマに、日本ケアマネジメント学会 副理事長 / 株式会社フジケア 代表取締役社長 白木 裕子氏にご講義いただきました。参加者から「アセスメントの大切さと、事例検討会の楽しさを学べた」等、感想をいただきました。第3回は「居宅介護支援事業所におけるリスクマネジメント」をテーマに、浜の町病院 訪問看護認定看護師 大久保 志保氏よりご講義いただきました。参加者から「具体的な視点を示されてわかりやすかった」「リスクを考えるとときに多方面からとらえ、見落としをしないことを認識した」等、感想をいただきました。第4回は「高齢者への虐待防止・身体拘束について」をテーマに、岩城法律事務所弁護士 岩城 和代氏にご講義いただきました。「虐待のサインはとても参考になった」「対応の流れから情報収集、事実確認等詳しく説明をうけ理解できた」等、感想をいただきました。

令和5年度は、多くの皆様に参加していただけるようオンライン開催を取り入れ、皆様の業務に活かし、さらに質の向上に資する研修を企画しております。皆様のご参加、ご意見をお待ちしております。

(一般社団法人福岡市医師会 高橋)



第1回研修会



第3回研修会

在宅サービス部会



令和4年度、在宅サービス部会では4回の研修を計画・実施いたしました。

第1回研修会は8月2日に、「認知症の人にもやさしいまちづくり」～サービス事業者が出来ることを考える～のテーマで社会福祉法人 社会福祉協議会 藤田 博久氏よりご講演いただき9名が参加されました。「声を上げることから始めること大切な事だと分かりました。」「現場で関わっていききたいと思うようになりました。」との感想をいただきました。

第2回研修会は8月24日に、「個人情報保護とリスクマネジメント（SNS利用による情報発信のリスクと責任を含む）」のテーマで翼・篠木 法律事務所 弁護士 篠木 潔氏よりオンラインでご講演いただき19名が参加されました。「個人情報にいろいろな種類があることが分かりました。」「毎日使っているSNSの危険性が参考になりました。」との感想をいただきました。

第3回研修会は9月14日に、「在宅での訪問リハビリの活用と他事業所との連携について」のテーマで桜十字福岡病院 桜十字在宅支援センターセンター長 古川 郁美氏よりオンラインでご講演いただき10名が参加されました。「訪問リハビリテーションを選択することの考え方が理解できました。」「訪問看護からと病院からの訪問リハビリテーションの違いがよく分かりました。」との感想をいただきました。

第4回研修会は2月20日に、「救命講習会」のテーマで福岡市消防局警防部救急課よりご講演いただき12名が参加されました。「胸骨圧迫の実技やAEDの操作を体験できて勉強になりました。」「異物除去・止血の正しい方法を学ぶことができ大変参考になりました。」との感想をいただきました。

令和5年度の研修事業におきましても、会員の皆様のご意見、ご要望に沿った内容を企画していきたいと考えております。

(医療法人浜江堂 江原)



第1回研修会



第3回研修会

施設サービス部会



令和4年度施設サービス部会は3回の研修を実施いたしました。

第1回は「ADL維持・向上を目的とした生活動作の訓練方法と、歩行補助具（杖・歩行器）の選択ポイントや調整についてを学ぶ」をテーマに株式会社大起エンゼルヘルプ 介護事業部 事業部長補佐 理学療法士 田中義行様にご講義いただきました。

参加者からは「ご本人の力を生かして介助者の負担も減らし、自立支援になるものを目指すべき姿だと感じた。」「すぐに実践できる内容が多かった。」等の感想をいただきました。

第2回は「身体拘束と権利擁護について（不適切なケアを防ぐために）」をテーマに岩城法律事務所 弁護士 岩城和代様にオンラインでご講義いただきました。

参加者からは「判例は、自分達にも起こりうる話で大変勉強になった。」等の感想をいただきました。

第3回は「チーム全体で取り組む気持ち良い排泄ケア～自身が受けたい排便ケアを皆で考えてみませんか～」をテーマに大牟田市保健福祉部コンチネンスアドバイザー / NPO 法人日本コンチネンス協会九州支部副支部長 種子田美穂子様にご講義いただきました。「日々のケアを振り返ることができた。」「チームで取り組んでいきたい。」等の感想をいただきました。

会員の皆様、ご参加いただきありがとうございます。集合研修が少なくなっている中、講師へ直接質問できる機会もあり、大変有意義な研修となりました。次年度は、参加者同士の交流機会づくりながら、より多くの方に参加していただける研修を実施していきたいと思っております。

(社会福祉法人今山会 塩田)



第1回研修会



第3回研修会

サービスの質向上委員会



令和4年度サービスの質向上委員会は4回の研修を企画し4回実施しております。

第1回は、令和4年7月21日に新人職員研修として、『介護保険制度の基礎知識と記録の書き方』の内容で社会福祉法人多々良福祉会 特別養護老人ホームなごみの里／ケアハウス多々良川／特別養護老人ホームつくしの里施設長 土居孝男氏にご講義頂きました。記録の重要性が学べた。今までの認識とは違う時代になっていくことを感じた。などの感想を頂いております。

第2回は、令和4年8月23日にオンラインで実施しました。『介護職員の接遇研修』の内容で学校法人麻生塾 麻生医療福祉専門学校福岡校 教務部 山下和美氏にご講義頂きました。ワークを交えながら、自分を客観的にとらえながら参加することができた。などの感想を頂いております。

第3回は、令和4年9月27日に中堅職員研修として、「ハラスメントと職員育成研修」を産業カウンセラー・アンガーマネジメントファシリテーター 原摩利香氏にご講義頂きました。ハラスメントについてじっくり考える機会となった。指導に役立てたい。などの感想を頂いております。

第4回は、令和4年11月16日に「介護保険事業所における災害時の対応」の内容で博多あん・あんリーダー会 代表幹事 小森勝輝氏にご講義頂きました。BCPの流れがより分かりやすかった。災害について今までと違う視点で考えることができるようになった。などの感想を頂いております。

昨年度も多数の会員の皆様のご参加を頂き、意義ある研修を行うことができました。来年度も皆様のご意見ご要望を参考に、更なるサービスの質の向上を目的とした研修を企画し実施していきたいと思っております。

(医療法人ながら医院 毛利)



第1回研修会



第4回研修会

令和4年度 事業一覧

1 総会

事業名	実施月日	内 容	講 師 等
総会・講演会	6月17日(金)	令和3年度事業実績・決算 令和4年度事業計画・予算(案) 講演会「人材の確保のための効果的な勤務条件や取り組みなどについて」	高橋 美紀 氏 (コーディアル社会保険労務士事務所 代表)

2 委員会

(1) 代表者セミナー等企画委員会

事業名	実施月日	内 容	講 師 等
介護の職場見学ツアー	◆中 止		
代表者セミナー	10月21日(金) 14:00~16:00	【事業者向け公開講座】 「人財の定着から考える～介護人材確保」 ※オンライン講座	倉員 知子 氏 (キャリアと組織開発コンサルタント "FLOW&HAPPEN"代表)

(2) サービスの質向上委員会

事業名	実施月日	内 容	講 師 等
第1回研修会	7月21日(木) 14:00~17:00	新人研修「介護保険制度の基礎知識と記録の書き方」	土居 孝男 氏 (社会福祉法人多々良福祉会 特別養護老人ホームなごみの里/ケアハウス多々良川/ 特別養護老人ホームつくしの里 施設長)
第2回研修会	8月23日(火) 14:00~16:30	～現場で役立つ～「介護職員の接遇」	山下 和美 氏 (学校法人麻生塾 麻生医療福祉専門学校福岡校 教務部)
第3回研修会	9月27日(火) 13:30~16:00	中堅職員研修 「ハラスメントと部下との向き合い方」	原 摩利香 氏 (産業カウンセラー・アンガーマネジメントファシリテーター・介護福祉士)
第4回研修会	11月16日(水) 14:00~16:00	「介護保険事業所における災害時の対応」	小森 勝輝 氏 (日本防災士機構防災士・福岡県教育アドバイザー・ 福岡県教育委員会学校安全推進委員会災害部長ほか)

(3) 会員ネットワーク委員会

事業名	実施月日	内 容	講 師 等
第41号情報誌	9月	4ページ	
会員のつどい	◆中 止	※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。	
第42号情報誌	3月	8ページ	

3 部会

(1) 居宅介護支援部会

事業名	実施月日	内 容	講 師 等
第1回研修会	9月2日(火) 14:00~16:00	「医療連携と医療系サービスの算定構造」 (加算内容と算定基準について)	松本 直人 氏 (福岡県介護支援専門員協会 専務理事、株式会社太平洋介護付き有料老人ホームサンタマリア 施設長)
第2回研修会	12月15日(木) 13:30~16:30	「事例検討会の意義と実際」～実践力を高めるために	白木 裕子 氏 (日本ケアマネジメント学会 副理事長/ 株式会社フジケア 代表取締役社長)
第3回研修会	1月13日(金) 14:00~16:00	「居宅介護支援におけるリスクマネジメント」	大久保 志保 氏 (浜の町病院 地域医療連携課 課長 訪問介護認定看護師)
第4回研修会	2月14日(火) 15:00~17:00	「高齢者への虐待防止・身体拘束について」	岩城 和代 氏 (岩城法律事務所 弁護士)

(2) 在宅サービス部会

事業名	実施月日	内 容	講 師 等
第1回研修会	8月2日(火) 14:00~16:00	「認知症の人にやさしいまちづくり」 ～サービス事業所ができることを考える～	藤田 博久 氏 (社会福祉法人 福岡市社会福祉協議会)
第2回研修会	8月24日(水) 13:30~17:00	「個人情報保護とリスクマネジメント」 (SNS利用による情報発信のリスクと責任を含む)	篠木 潔 氏 (弁護士法人 篠木法律事務所 弁護士)
第3回研修会	9月14日(水) 14:00~16:00	「在宅での訪問リハビリの活用と他事業所との連携について」	古川 郁美 氏 (桜十字福岡病院 桜十字在宅支援センター センター長、理学療法士)
第4回研修会	2月20日(月) 10:00~13:00	「救命講習会」	福岡市消防局

(3) 施設サービス部会

事業名	実施月日	内 容	講 師 等
第1回研修会	7月15日(金) 10:00~13:00	介護技術研修「ADL維持・向上を目的とした生活動作の訓練方法と歩行補助具(杖・歩行器)の選択ポイントや調整について学ぶ」	田中 義行 氏 (株式会社大起エンゼルヘルプ 介護事業部 事業部長補佐 理学療法士)
第2回研修会	12月13日(火) 14:00~16:00	「身体拘束と権利擁護について(不適切なケアを防ぐために)」	岩城 和代 氏 (岩城法律事務所 弁護士)
第3回研修会	1月11日(水) 14:00~16:00	「チーム全員で取り組む気持ちの良い排便ケア ～自身が受けたい排便ケアを皆で考えてみませんか～」	種子田 美穂子 氏 (大牟田市保健福祉部コンチネンアドバイザー/NPO法人日本コンチネン協会九州支部副支部長)

～福岡市からのお知らせ～

～認知症フレンドリーシティ～ 認知症の人にやさしいまちへ

認知症の人を含む全ての人が安心してストレスなく暮らせるまちを実現するため、ユニバーサルデザインの理念に基づいた「認知症の人にもやさしいデザインの手引き」を策定し、令和4年1月末時点で36の公共施設や高齢者施設に導入しています。

トイレの扉など、目立たせたいものには周囲の壁や床とのコントラストをつける、目線の高さに分かりやすいサインを設置するなど、簡単な工夫で誰もが行動しやすく、より過ごしやすい環境をつくることのできる30のポイントをまとめています。



扉は周囲とコントラストをつけ、見やすいサインを設置



食べ物と食器の色を対比させ、食べ物がはっきりと認識できると食欲増進につながる



椅子など認識してほしいものは床とコントラストをつける



手引きや導入事例はホームページに掲載中



高齢者施設等への導入について、相談を受け付けています。

お問い合わせ先

福祉局 認知症支援課

TEL : 092-711-4891

Email : ninchi-shien.PWB@city.fukuoka.lg.jp

福岡市では、介護人材確保のために事業者のみなさまにもご利用いただける取組みを行っています。随時facebook等に情報を掲載しています。ぜひご覧ください。



(↑福祉人財の部屋 facebook)

お問い合わせ先

福祉局 高齢社会政策課 (福祉人材係)

TEL : 092-711-4595

Email : fukujin@city.fukuoka.lg.jp

福祉用具のご紹介

クロツの 医療 | 介護 | 福祉用品



～車椅子利用にあたって身近な危険防止対策～

日本の車椅子利用者は約 200 万人（全人口の 1.57%）と言われております。その中でも車椅子が生活にとって必要不可欠な方もたくさんいらっしゃると思います。今回はそんな方々から伺わせてもらい、車椅子本体でも危険な箇所を事故防止策のためにカバーする福祉用具のご紹介を致します。

HC-43 クロツ フットレストカバー

- A (幅約15.5cm×奥行21cm)
- B (幅約16.5cm×奥行21cm)
- C (幅約17cm×奥行18cm)
- その他サイズ応談

税込 4,840 円

ブルー



足を乗せてもすべりにくい
ゴム素材



装着すると約 7.5 倍の動摩擦力を発揮。
足との接地面をしっかりとグリップします。



表皮剥離事故が多発する裏側の構造

やわらか素材でしっかりとカバー!



移乗時のリスクと労力を軽減させます!

足置き面は滑り止めゴム、裏面は滑りの良いジャージ素材、内側はズレ・回転を防ぐ滑り止めゴム、ほどよい弾力性のあるウェットスーツ素材。現場のニーズから生まれた便利製品です。

HC-44 クロツ アームレストカバー

約 外周21×長さ37cm
(装着時) 伸び幅 約5cm
その他 サイズ応相談

税込 4,730 円

ブルー



褥瘡予防、ヒンヤリ対策、腕の突っ込み予防など、様々な用途にご利用できます。

市販の車椅子のアームレスト(肘置き)に簡単装着できます。厚さ5ミリの軟性弾力素材で肘に優しい使い心地になります。裏面は滑り、回転を防ぐゴム素材。ネジの飛び出し部分からの保護や老朽化によるはがれ、体圧分散による

HC-49 クロツ レッグサポート

約 幅70×24cm
その他サイズ応談

税込 7,260 円

ブラック



足節の落ち込み防止のほか、保温性があるので金属部分へのヒンヤリ対策、寒さ対策にもお使い頂けます。

5mm厚のウェットスーツ素材で弾力性、柔軟性が特徴です。24cmの高さで広範囲にカバーし、足の形状にほどよくフィットします。全面ベルクロ(マジックテープ)素材で、左右を折り返して貼り付けて固定し、お好みの張り具合に調節できます。

「クロッツ ケア」は、ウェットスーツ等に用いられる、軽量・耐熱・保温・防水・密閉・耐衝撃性・柔軟性・弾力性・密着力などの多面的な特徴がある、「クロロレンゴム」という特殊素材を用いて、各所の問題点をカバーします。素材の特性と、長年培ったウェットスーツ加工技術を活かした商品づくりをしています。ほとんどの商品は、実際に困っていた現場の声から生まれています。その他、いくつか代表的な商品をご紹介します。



HC-51

クロッツ やわらかサイドレールカバー

通常タイプ 税込 12,430 円



※介護度
でも分けても
介護者さんを
判別しやすい!

介護ベッドのサイドレールやグリップでの手足の挟み込み事故や衝突事故予防に。ウェットスーツのやわらか素材で作られたカバーで柔軟性もあるためサイドグリップのロック操作もスムーズ。3 種のカラーで色分け可能! 一目で介護度を判別できます!

HC-66

クロッツ リハビリ用にぎにぎボール

税込 小 1,980 円

税込 大 2,310 円



サイズ/小: 約5.5x 10x 8cm
大: 約7x 12x 9cm
重量/約18g 大: 約22g
素材/クロロレンゴム
原産国/日本



5mm厚のウェットスーツ素材のやわらかボールに、握力が弱い方でも使用できるように指を通す部分を付けました。リハビリ用として指の機能回復や拘縮(こうしやく)予防対策、リュウマチなどの指の体操にもお使い頂けます。手洗い可能で速乾性があり毎日清潔に使えます。

HG-03

クロッツ ルームシューズ スタンダード

税込 3,080 円



サイズ/(1cmきざみ)
XXS:22cm XS:23cm
S:24cm M:25cm
L:26cm XL:27cm



ウェットスーツ素材の特性を活かして作られた室内履き。保温性に優れ、軽くてやわらかくフィット感抜群! 靴下感覚で正座もでき、スリッパいらず! 滑り止め底付きでフローリングや階段でも滑らなづつまづきににくく、冷え症の方や高齢者の方に特におすすめの一品。

断熱性の高いウェットスーツ素材で作られた大人気湯たんぽ★

クロッツ やわらか湯たんぽ

断熱性・保温性に優れ、カバーなしで使えます! 用途に合わせた色々な形状があり、医療・介護分野でもご利用頂いております。

HY-601

クロッツ やわらか湯たんぽ
肩用タイプ



税込 6,600 円



サイズ/約 27x 25x 3cm
容量/約 0.8L 重量/約 170g

肩こりの方におすすめのタイプです。幅が広めなので首と肩にしっかりと密着します。30分から1時間程度肩にかけてお使いになりますと、肩や首の血流が促進されて肩が軽くなり、身体の芯からポカポカに。

HY-603

クロッツ やわらか湯たんぽ
足用ショートタイプ



税込 16,170 円



サイズ/S: 約 24cm M: 約 27cm
容量/約 1.1L(片足)
重量/S: 約 780g M: 約 800g

超人気商品、足用タイプが足首までになった足用ショートタイプです。温かさが全身に行き渡る威力と、最初に使った時のびっくり感は変わりません。足から温めて全身ポカポカ。底もついていて軽い移動ができます。

HY-605

クロッツ やわらか湯たんぽ
たまご型タイプ 1.2L



税込 3,630 円



サイズ/約 24x 19x 3cm
容量/約 1.2L 重量/約 160g

リーズナブルでシンプルな使いやすいつタイプです。夜はお布団に入れてポカポカ幸せ気分。お腹が痛いときはお腹にあててじんわり温めて...などなど色々な使い方ができ、24時間活躍してくれる優れものです。

お問い合わせ先

製造・販売元 | ヘルメット潜水株式会社 担当 | 平野

住所 | 〒873-0202 大分県国東市安岐町瀬戸田 1300 番地
TEL | 0978-67-2251 FAX | 0978-67-2377 MAIL | hirano@cloz.co.jp
URL | https://www.cloz.co.jp クロッツオンラインショップ | https://www.cloz.biz

CLOZZ
ONLINE
SHOP



会社説明 | 概要

代表取締役の伊賀正男が、1982 年ウェットスーツ製造販売会社として創業。「クロッツ」は、ヘルメット潜水株式会社のオリジナルブランドで、ウェットスーツ素材のクロロレンゴムを主に使用し、様々な特徴があるその特殊素材の特性を活かした、日々健康で過ごすための快適な商品づくりをテーマに、日々開発に取り組んでいる。2007 年に誕生した「クロッツ やわらか湯たんぽ」は、累計販売個数・70 万個を積んだ人気ヒット商品で、冷え性の方のココロとカラダを癒す一押しのおすすめ主力商品。2012 年ころよりウェットスーツ素材の介護用品や、体圧分散に優れた床ずれ予防マットレスの開発にも着手。口コミにより徐々に業界にも浸透中。現場でのお客様のお困りごとを即座に形にする、自社工場でのスピーディな商品開発を心がけている。

大分県国東市安岐町瀬戸田 1300 番地



ヘルメット潜水株式会社

福岡市介護保険事業者協議会へのお誘い

新会員募集しております！

福岡市介護保険事業者協議会では、介護サービスの種類を問わず、多くの福岡市内の事業所間のネットワーク構築に努めながら、より良い介護サービスの提供を目指して、ニーズに即した研修会やセミナー、講演会を開催しています。

いろんな介護保険事業者のみなさんと交流し、ネットワークを広げませんか!!

加入対象 福岡市内で事業展開している介護サービス事業所を運営している法人

活動実績 (令和4年度より一部紹介)

- ◆ サービスの質向上委員会研修会 (サービスの種類に関わらず横断的な研修内容です。)
「介護保険制度の基礎知識と記録の書き方」、他
- ◆ 居宅介護支援部会研修会 (介護支援専門員を対象とした内容です。)
「医療連携と算定構造について」、他
- ◆ 在宅サービス部会研修会
「個人情報とリスクマネジメント」、他
- ◆ 施設サービス部会研修会
「ADL向上を目指した生活訓練と杖の選び方」、他

幅広い介護サービス関係事業者のご加入を心からお待ちしております。

【お問い合わせ先】 福岡市介護保険事業者協議会事務局
電話：092-761-0883 FAX：092-761-0877
e-mail：jimukyoku@fukukaikyou.gr.jp

編集後記

コロナ禍になり3年が経過しました。5月には新型コロナウイルスは感染症法における分類の5類に引き下げられます。少しずつコロナ禍以前の日常に社会が戻ろうとしています。私自身コロナ禍前は、普段の日常に感謝するような事はあまり無かったように思います。しかし利用者様と一緒にテーブルを囲んで、お食事や会話を楽しんだり、ドライブに出かけてお花見を楽しんだりといった、これまで行ってきた介護サービスの中での日常が、私にとってもどれだけ素敵な時間だったのかという事を感じた3年間でした。介護サービスの利用者様は高齢であり、基礎疾患をお持ちであったりもするため、コロナウイルス感染による重症化するリスクが高い方が多くおられます。5類に引き下げられたとしても私たち事業者が感染対策を緩和させたりすることはすぐには難しいかもしれません。ただ、緊急事態宣言が発出されて多くのことが制限され、いつ収束するのか終わりが見えなかった時とは違い、今はもうコロナ禍の出口がすぐそこに見えるのかもしれません。

「もう少し」「あと少し」。これからも、うがい・手洗い・手指消毒で感染を予防していきましょう。

(医療法人永寿会 梶原)

発行元 福岡市介護保険事業者協議会 会員ネットワーク委員会
発行日 令和5年3月
お問い合わせ先 福岡市介護保険事業者協議会事務局【(社福)ふくおか福祉サービス協会 介護支援課内】
TEL 092-761-0883 FAX 092-761-0877 <http://www.fukukaikyou.gr.jp>

※ 部数が足りない事業所にはお送りしますので、事務局までご連絡ください。